

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

No. 61 平成20年8月（平成20年4月～6月分）

西海区水産研究所

		水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）																											
水 産 業 の 動 向	山口県	*ケンサキイカ不漁（4、5月）、クロマグロ好漁（6月）、カタクチイワシ小中羽好漁（浮敷網5、6月）。	*萩沖表層水温は平年並み（+0.7～-0.5）で推移した。	*特になし	*特になし																											
	福岡県	*筑前海： マアジ：平年を下回る ケンサキイカ：〃 イカナゴ：自主禁漁 マダイ：平年並み *有明海： ガザミ：不漁 エツ：不漁 アサリ：好漁 *豊前海：小型底びき網は、低調。コシヨウダイ豊漁。カミナリイカ豊漁。 *内水面：アユは昨年よりは多いものの資源水準は低位。エツは5月から6月中旬までは不漁。6月半ば以降漁獲回復傾向。	*筑前海： 水温 4月 やや高め 5月 平年並み 6月 やや低め 塩分 平年並み 平年並み 平年並み *有明海： 水温：平年並み 比重：やや高め 赤潮：発生なし *豊前海：水温は表層・底層とも平年並みで推移した。塩分は、表層・底層ともやや高めで推移した。 赤潮の発生： 5/27～6/11 ヘテロシグマ アカシオ 6/24～ プロロセントラム sp	*有明海：19年度のノリ養殖は、4月10日で終了し、枚数は15億8千万枚（史上最高）、金額は144億円、単価は9.10円/枚であった。アサリ稚貝移植放流実施。	*内水面：九州北部は6月中の降雨は比較的順調。																											
	佐賀県	*玄海：玄海漁連の水揚げ量は、平年・昨年と比べ、マダイ、アオリイカは多いが、マアジ、ブリ、ケンサキイカ、スルメイカ、クルマエビは少なかった。また、マサバ、サワラは平年より少なかったが、昨年より多かった。 *有明：漁業者からの聞き取りで、マナガツオが多い。ビゼンクラゲの漁獲が例年より遅れた。ガザミの漁獲が例年より遅れた。サルボウの漁獲量は昨年より少なめ。	*玄海：表層水温は、4月は対馬水道は平年並み、壱岐水道はやや低め、5月は対馬東水道はやや低め、壱岐水道は平年並み、6月は対馬東水道、壱岐水道ともに平年並みだった。 *有明：水温は平年並に推移し、塩分は平年より高めに推移した。DINは4～5月は平年より低めに、6月は高めに推移した。プランクトンは平年並に出現したが、赤潮による漁業被害はなく、粘質状浮遊物の発生もなかった。	*玄海：カサゴの放流。トラフグ放流（有明海）。 *有明：ノリの最終共販は4月15日に行われ、H19年度共販実績合計は2,145万枚、23,000百万円であった。	*特になし																											
	長崎県	*カタクチイワシは、前年同様、比較的順調な漁であった。ケンサキイカは、前年を下回り、不調な漁であった。	*長崎県近海の表面水温は、4～6月は、平年並であった。	*特になし	*特になし																											
	熊本県	*天草漁協牛深総合支所後浜新港に水揚げされた中型まき網漁業のアジ・サバ・イワシ類の漁獲量は前年同期(976.7t)を上回り、平年(H15-19年)同期並み(1,259.7t)であった。	*海況（4～6月） 水温：有明海・八代海ともに4月及び6月はやや低め、5月は平年並み。 塩分：有明海・八代海ともに平年並み。 *赤潮発生状況（：以降は期間） ・有明海 1 <i>Heterosigma akashiwo</i> 、 <i>Heterocapsa rotundata</i> 、 <i>Gonyaulax</i> sp.、微細藻類：5/7～5/20 ・八代海 1 <i>Skeletonema costatum</i> 、 <i>Chaetoceros</i> spp.、 <i>Heterocapsa rotundata</i> 、微細藻類：6/5～6/13 2 <i>Chaetoceros</i> spp.、 <i>Nitzschia</i> spp.、 <i>Thalassiosira</i> spp.、 <i>Skeletonema costatum</i> 、 <i>Prorocentrum minimum</i> ：6/19～	*クルマエビ養殖においてPAVが2カ所で発生した。 *トラフグ養殖においてカリグス症が発生した。 *ノリ養殖は、4月中旬で平成19年度漁期終了となったが、生産枚数は13.6億枚（対前年比125.9%）、生産金額は116.8億円（対前年比138.8%）、平均単価は8.60円（前年より0.80円高）だった。	*特になし																											
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>漁獲量</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マアジ</td> <td>115.5t</td> <td>302.3%</td> <td>183.9%</td> </tr> <tr> <td>サバ類</td> <td>212.4t</td> <td>320.9%</td> <td>245.8%</td> </tr> <tr> <td>マイワシ</td> <td>3.8t</td> <td>1.5%</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>カタクチ</td> <td>1,398.9t</td> <td>349.9%</td> <td>156.2%</td> </tr> <tr> <td>ウルメ</td> <td>49.4t</td> <td>23.3%</td> <td>31.2%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>1,780t</td> <td>182.2%</td> <td>141.3%</td> </tr> </tbody> </table>	魚種	漁獲量	前年比	平年比	マアジ	115.5t	302.3%	183.9%	サバ類	212.4t	320.9%	245.8%	マイワシ	3.8t	1.5%	6.7%	カタクチ	1,398.9t	349.9%	156.2%	ウルメ	49.4t	23.3%	31.2%	全体	1,780t	182.2%	141.3%	
魚種	漁獲量	前年比	平年比																													
マアジ	115.5t	302.3%	183.9%																													
サバ類	212.4t	320.9%	245.8%																													
マイワシ	3.8t	1.5%	6.7%																													
カタクチ	1,398.9t	349.9%	156.2%																													
ウルメ	49.4t	23.3%	31.2%																													
全体	1,780t	182.2%	141.3%																													

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

No. 61 平成20年8月（平成20年4月～6月分）

西海区水産研究所

		水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）																		
水産業の動向	熊本県	*有明海沿岸の干潟域でのアサリ漁獲について（4～6月）：聞き取り調査によると、1,951トンの漁獲があつているが、前年同時期の1,452トンと比較して134%と増加している。	・天草海 1 <i>Heterosigma akashiwo</i> : 5/2～5/6 2 <i>Heterosigma akashiwo</i> , <i>Cochlodinium polykrikoides</i> : 5/16～6/6 3 <i>Noctiluca scintillans</i> : 6/19～6/22																				
	大分県	*豊前海では底曳き網のシャコ漁獲が引き続き少ない。旋網ではアジ、サバ類不漁。シラス漁期が例年より1ヶ月早い。	*豊後水道水温「平年並～やや高め」。 *豊前海水温「4月かなり高め、5月平年並、6月やや低め」 *4月、5月に猪串湾でコックロディニウム、ヘテロシグマ・アカシオ、ギムノディニウム・カテナータムによる複合赤潮が発生。（ギムノディニウム・カテナータムにより、天然二枚貝とヒオウギガイは出荷自主規制（3月末～6月下旬）となった。 *6月に別府湾南部から臼杵湾にかけて、ヘテロシグマ・アカシオの赤潮が発生。	*特になし	*特になし																		
	鹿児島県	*主要4港のまき網水揚調査 <table border="1" data-bbox="334 852 872 1155"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マアジ</td> <td>129%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>サバ類</td> <td>42</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>ウルメイワシ</td> <td>18</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>カタクチイワシ</td> <td>241</td> <td>359</td> </tr> <tr> <td>ムロアジ類</td> <td>131</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table> *カタクチイワシは、前年、平年以上の水揚げで好調であったが、サバ類、ウルメイワシは前年、平年を大きく下回り低調。 *前年、数年ぶりに好調であったマイワシは、まとまった来遊が見られず、前年・平年比とも大きく下回る。 *モジャコ漁が好漁であった。	魚種	前年比	平年比	マアジ	129%	75%	サバ類	42	57	ウルメイワシ	18	53	カタクチイワシ	241	359	ムロアジ類	131	72	*4月中旬から6月はじめにかけて薩摩半島南東部の定置網にミズクラゲが大量に入網。揚網時の網破損や漁獲物の鮮度低下などの漁業被害が発生。鹿児島湾内も、例年に比べミズクラゲの発生が多かった。	*特になし	*特になし
	魚種	前年比	平年比																				
マアジ	129%	75%																					
サバ類	42	57																					
ウルメイワシ	18	53																					
カタクチイワシ	241	359																					
ムロアジ類	131	72																					
沖縄県	*特になし	*特になし	*特になし	*特になし																			
その他（国への要望等）																							